

機械科の取り組み

平素、寒河江工業高校同窓会の皆様には、本校教育活動にご支援いただきありがとうございます。お陰様で機械科三年生の就職・進学の内定状況は順調です。

さて、本校が創立して本年度で五十三年を迎えます。現在、三学科各一クラス生徒定員数三百六十名と、かつての最大定員数が六百名からほぼ半分の規模となつています。この間、学科が変わらず存続しているのは本科だけとなりました。他の工業高校同様、機械科という学科は、現在も科名を変えず存続する理由には、産業界の中で労働職種として幅広く需要のある学科ということもあろうかと思ひます。

ここ二年間の機械科の近況を報告いたします。本校に在籍中の同窓会の方々の御息も多数在籍しております。出口では、先ほど申しました通り、順調な内定の状況で、製造業への内定を主として他、運輸サービス業、そして、公務員関係で県や役場への内定など、機械関係の職種以外へも幅広く希望通り就職しています。進学は山形産業技術短期大学校、職業能力専門学校をはじめ、その他、各種学校へ約四割の生徒が入学しています。機械科の学習している教科は従来から学んでいる設計や製図そして、実習では切削加工・溶接・鋳造・CAD・制御など機械に関する基礎的内容の定着を目標に学習指導に努めています。本校では資格取得に積極的に挑戦させ、知識・技術、高い専門性を備えた人材を育成することを育てることやものづくり教育の質を向上させると共に、新たな時代に要請に応え、地域発展に貢献できる教育を学校全体の重点目標の一つとしてしています。機械科ではこの重点目標に沿って十年前から国家検定である技能検定に取り組んでおり、現在、徐々に検定種目を増やし、希望者へ機械検査・旋盤作業・シーケンス制御・機械保全・マシニングセンター作業・テクニカルイラストレーション・CADなどの検定に向けた指導を実施しております。また、毎年、県内で行われているメカトロアディアコンテストでは、創意工夫を凝らしたロボットで出場、例年、上位入賞を果たし今年度は県内一位となり、全国大会へ出場。まさにものづくりの中で個々の生徒の成長を感じることのできる年でした。

機械科は本校創立と共に歩んできた学科で実習設備もだいぶ古くなり多くのものが四十年以上経つ設備や工作機械ですが、今でも生徒達に教育用として活用されています。同窓生の皆様が懐かしく思われる工作機械が今でもなんとか加工寸法精度など臨めないうち、卒業生が今年の十月に本県を会場に行われた全国技能オリンピックのフライス盤作業にエントリーしていました。エントリー選手でその技能の高さを誇示して、各メーカーとも技能・技術の威信をかけて競技に臨んでいました。そんな中、天童ある会社から本校機械科卒者が参加していました。このことはたいへん嬉しいことで今から社会へ出ていく生徒達にとって大いに励みになることです。同窓会の皆様には今後ともいろいろな場面で本校の教育活動にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



電子機械科の取り組み

電子機械科では、マイコンカー製作を、制御技術の学習を通して、人間性を豊かで創造性に富む電子技術者の育成を目指して取り組んでいます。

今年度の電子機械科の取り組みを振り返ってみます。初めに各種コンテストについては、先輩たちの残していた技術・技能を後輩たちが受け継ぎ、本年度も活躍することができました。六月に行われた第十一回高校生ものづくりコンテスト山形県大会電子回路組立部門に参加し、ハードウェア競技で第三位に入賞することができました。また、九月に村山産業高校で行われた「マイコンカーラリー」競技会に九名出場、十一月のマイコンカーラリー山形県大会ではベテランクラスに一〇名、アドバンスクラスに一名が参加し、入賞は逃したものの一生懸命取り組みました。

次に学習面では、例年行っている、企業の方や本校OBの方々の協力を得て、はんだ付け講習会や技能検定、電気工事士等の資格取得に向けた技術セミナーなどを行い、技術力向上を図ることができました。そしてジュニアマイスターシルバーを三名の生徒が受賞しています。

今年度の進路に関しては、就職が二六名、大半が地元企業への就職であり地元産業の担い手となってくればと思います。また、進学者は十二名、四年生大学や県立産業技術短期大学校などに合格しています。今後とも皆様のご発展をお祈り致しますとともに、更なるご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



情報技術科の取り組み

情報技術科では、地域に根差し人間性を豊かで創造性に富むエンジニアの育成を目指し、日々の学習活動に取り組んでいます。

今年度も夏季休業中に、本校を会場に「ものづくり体験教室」が実施されました。当日は約20名の小学生や保護者が参加し、「ドレミファキーボード」を製作しました。基板にLEDやスピーカーなどのはんだ付けを体験し、情報技術科の生徒が作業のお手伝いを行いました。作品が完成すると、子供たちは早速楽しそうに演奏していました。課題研究で取り組んでいる「3Dプリンタを用いた盲学校向け教材製作」の研究について、8月に齋藤映理子教諭が全国情報技術教育研究会で発表しました。この研究は県立山形盲学校からの依頼により、3Dプリンタを用いた様々な教材を製作し提供する取り組みです。これまで広島島の原爆ドームなど数多くの教材を提供しました。

一方、資格取得では電子情報系の資格を中心に技能検定、電気工事士や工事担任者など様々な資格検定に挑戦し、多くの合格者を輩出しています。情報技術科ではこれまでの歴史や伝統を継承しつつも、日々進歩し続ける情報化社会に対応すべく、新たな分野にもチャレンジしながら教育活動を行っていきたくと考えております。

同窓会の皆様には引き続き御支援を宜しくお願いいたします。



電化製品・電気工事・住宅設備

信用と技術の店

SDK 斎藤電器(株)寒河江店

寒河江店 / 〒991-0003 寒河江市西根上川原363-9
TEL(0237) 86-5133
FAX(0237) 86-5134

技術で創る豊かな未来

総合建設業
鋼構造物製作Mグレード大臣認定工場

布施建設株式会社

代表取締役 布施 健

本社 / 山形県寒河江市南町三丁目3-35
http://www.fusekensetsu.com

TEL(0237) 86-4225(代)
FAX(0237) 86-4237